反対

椎名 義光 議員

住民の福祉、くらし、地域経済を守るため、どれだけ努力したか

平成19年度多古町一般会計決算の認定に反対の意見を申し上げます。町長は、小泉内閣以来の「構造改革」路線を止めて、住民の福祉、くらし、地域経済を守るために、どれだけ努力したかであります。平成の大合併で、多古町は独立の道を選択しました。今また更なる合併を目指していますが、これこそ構造改革そのものです。合併により、職員がいなくなり、自治体病院がなくなり、学校がなくなっていく政治でいいのかということです。町民の暮らしを豊かにするための、根本的な転換が必要です。この多古町版が、行革大綱に基づく町政運営です。学校給食を全面民間委託にすることは、公的職場に、不安定な雇用環境を持ち込み、低賃金、不正規雇用の温床になりかねません。また、教育の一貫としての給食のあり方、食の安全面も問題です。今般発覚した汚染米が、民間業者を通して、学校や病院給食に使われていたことも、公設民営の問題点を浮き彫りにしました。

国が社会保障費の自然増分2、200億円を毎年削ることを国民に押し付けていることから、町では国保税の負担増として、住民を苦しめています。国保税の引き下げや減免に使うことが、住民の側を向いた、税金の使い方です。水道料金も、減価償却費が増えるので赤字となり、料金改定が必要との考え方は、余りにも経営主義的な考え方で、理解されません。

財政からみても、税金の使い方を変えていくことは可能です。一般会計の基金総積み立て額と地方債の現在高は拮抗していますので、無理な財政状況ではないということです。歳入では、他町にないタバコ税2億円余が、交付税と相殺されてしまう仕組みを、打ち破る知恵を出すことを求めます。反対議案ではないが、集落排水に年1億円余り繰り出すことから、未実施地域への合併浄化槽設置に対する補助金充実を求めます。また、病院を一般会計からの繰り出しにより支えることは当然です。

賛成

加瀬 芳廣 議員

予算が計画どおり執行されたことを評価します

自らが賛成した予算が計画どおり執行されているかという観点から、討論をさせていただきます。

一般会計では、町税の予算額に対する収入率は104・86％、歳出の執行率は96・52％であります。財政の健全化判断比率、資金不足比率にも見られるように、実質赤字比率、連結実質赤字比率ともに赤字ではありません。実質公債比率も基準値が25・0に対し11・5、将来負担率も基準値が350・0に対し20・2です。

給食センター事業では、歳入歳出とも計画どおり執行され、地元産に対する配慮、食育の取り組みも考慮・配慮があります。

健康保険事業は、財政調整基金への積立もあり、執行率も92・4％です。老人保健は、歳入歳出とも計画どおり、農業集落排水事業も、収入率99・8％執行率98・5％で計画どおりでありますが、収入の82・8％は一般会計からの繰入金で賄われているので、供用率の向上と未収金の回収に努力を望みます。

介護保険事業会計では、収入率99・8％、執行率は96・5％で計画どおりです。介護保険制度も住民に徐々に理解されてきたところであり、一層の信頼と理解の向上に努力を願います。

病院会計では、入院・外来収入、福祉サービス等の減で、人件費抑制がなされたものの費用全体では4・4％の減です。3億350万円ほどの欠損額を計上しているが、電気メス及び出血止め装置等の購入があり、勤務する者がやる気の出せるよう配慮をした設備がなされています。常勤内科医の確保と同時に、地域住民の健康と福祉の増進を望みます。

水道事業は、主たる目的である安全・安心な水を安定して供給することが第一と考えられます。そのための設備、施設の整備がなされ、高利率の公的資金償還免除により繰り上げ償還もされています。

以上、賛成の討論といたします。

討論しました

平成 19 年度

各会計決算の採決結果

●一般会計……認　定【賛成多数】
●学校給食センター事業特別会計…認　定【賛成多数】
●国民健康保険事業特別会計……認　定【賛成多数】
●老人保健特別会計……認　定【賛成多数】
●農業集落排水事業特別会計……認　定【賛成全員】
●介護保険事業特別会計……認　定【賛成多数】
●国保多古中央病院事業会計……認　定【賛成全員】
●水道事業会計……認　定【賛成多数】